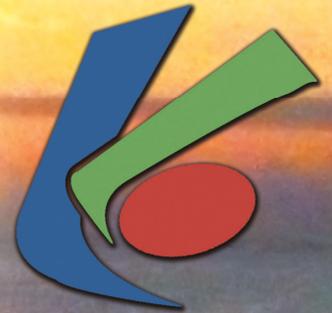


2017
2月
第65号

かい 陽
海陽
公民館報



祝 海陽町成人式



平成29年

海陽町成人式 ～新たな決意を胸に107名が大人の仲間入り～

平成29年海陽町成人式が1月2日(月)、海南文化館で開催され、新成人107名が大人としての自覚を胸に、新たな一歩を踏み出しました。

華やかな振り袖姿やスーツ姿の新成人が懐かしい恩師や友人らとの久しぶりの再会に喜び写真を撮ったり思い出話に花を咲かせたり、会場内は新成人たちの笑顔で溢れていました。

式典では、町長をはじめ来賓の方々からの温かい祝辞や記念品贈呈、新成人代表の「謝辞」や「将来の抱負」など終始なごやかに行われました。

式典後には記念撮影も行われ、会場に詰めかけた大勢の家族らが、晴れ着姿の新成人をカメラやビデオに収めようと詰め寄ると、新成人たちはとびきりの笑顔で応えるなど人生の新たな門出を祝いました。



司会
うらし まい 浦西 真維 さん
なかむら たくみ 中村 拓実 さん

新成人代表謝辞



たかはた ようへい 高田 庸平 さん

皆さん明けましておめでとうございます。

本日は私たちのためにこのような盛大な式典を開催していただき、本当にありがとうございます。新成人一同を代表して心よりお礼申し上げます。

また、町長様をはじめ来賓の皆様から温かいお言葉と激励の言葉をいただき、新成人としての喜びを噛みしめると同時に今後の責任の重大さを痛感しています。こうして私たちが大事なく成人式を迎えることができるのは両親をはじめ周囲の方々の多くの支えがあったからだと思います。

今日から新成人としての第一歩を踏み出しますが社会人としての自覚と責任感をもってそれぞれの夢に向かって努力していきたいと思っています。

まだまだ未熟な点もたくさんあると思いますが、これからも未永く温かい目でご指導、ご鞭撻の程をよろしくお願い致します。

まことに簡単ではございますが、成人代表としてお礼の言葉とさせていただきます。

本日は本当にありがとうございました。

将来への抱負

—海南地区—



たおか ともき 田岡 友貴 さん

新年あけましておめでとうございます。本日は、私たちのためにこのような素晴らしい式典を開いて頂きありがとうございます。成人式をここ海陽町で皆さんと共に迎えることができ、大変嬉しく思います。また、今まで支えて下さった家や友人、そしてお世話になった先生方、地域の皆様には本当に感謝しています。

私は、18年間この海陽町で過ごし高校卒業後は自動車の整備士になるという目標を持ち、兵庫県の自動車整備学校に進学しました。授業では作業に必要なスキルや接客に必要なマナーな



海南地区集合写真

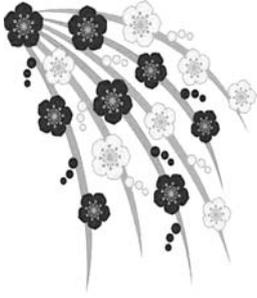
どを学んでいます。3月には整備士になるための国家試験があります。その試験に合格する為、必要な専門知識や技術がまだまだたくさんあるので、しっかりと勉強に励みたいと思います。また、就職活動では徳島県内の自動車会社に内定を頂いています。4月からは社会人として一歩を踏み出しますが、まだまだ未熟でぶつかる壁も多いと思います。そこでくじけず頑張って乗り越えていきたいと思います。皆さんも大変な事があるかと思いますが目標に向かって頑張ってください。本日はありがとうございました。

—海部地区—



新年あけましておめでとうございます。本日はこのような盛大な式典を開催していただき本当にありがとうございます。生まれ育ったこの海陽町で、みんなと成人式を迎えられたことを大変うれしくおもいます。また、これまで自分を支えてくださった家族、友人、先生方、そして地域の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

将来の抱負というところで、私は海部高校を卒業して神戸の専門学校に進学しましたが、すぐにやめて帰ってきてしまいました。そして今、海陽町で就職しています。今思うと、本当にやりたいことがあったからその専門学校に行ったのかと言われるとそうではなかったかもしれないです。そして、この成人式で将来の抱負を言う話を引き受けてから何がしたいのかを考えました。がなにも思い浮かびませんでした。しかし、今のままでは今後絶対後悔してしまうと思います。そこで新しいことを始めようと思い、今年2月にある海部川風流マラソンに出ようと選手登録しました。昔から走るの得意ではないですが練習さえすれば必ず走れると信じています。ただ本番はなにが起こるかかわりませんし、完走できないかもしれないですが、フルマラソンに出ること自体新しい経験です。これからまだまだ人生もながいのでいろいろなことに挑戦してどんなに苦しいことでも楽しんでいきたいと思えます。本日は本当にありがとうございました。



海陽地区集合写真

—穴喰地区—



まつもと しのぶ 松本 忍 さん

皆さん、あけましておめでとうございます。

本日は私たちのために、このような盛大な式典を開催していただき、本当にありがとうございます。

新成人一同を代表して心よりお礼申し上げます。

僕は生まれてから18年間この海陽町で過ごしてきました。

過ごしてきた中で両親や先生方また地域の方々には大変お世話になりました。

僕は今、愛知県で会社員として働いております。このように企業に就職で

きたのも先生方や両親のおかげだと思っております。

社会人になってから2年間が経ちました。この海陽町を離れて生活するのが、多少心配ではありましたが今では心配事も少なくなり社会人らしく生活しております。

これからは家庭を持つようになり大切な存在ができてくるのでしっかりと守れるような人間になっていきたいと思えます。また、仕事では信頼される存在になれるようにがんばってきたいです。まだまだ未熟な点もありますが、これから末永く温かい目でご指導・ご鞭撻の程よろしくお願ひします。



穴喰地区集合写真

2017年(平成29年)

海陽町成人者名簿 (敬称略)

海南地区

小島 黒川 黒岩 北多 喜畑 川畑 川畑 片岡 角田 加賀 岡田 大川 大江 浦崎 浦西 浦西 岩佐 石山

唯紗 日大 愛大 満里 琢斗 大和 実樹 瑞輝 悠弥 祥矢 海斗 愛加 真励 紅音 辰馬

林濱 濱乃 西宮 西谷 新居 新居 中村 富田 寺下 土壁 月野 竹内 田岡 島川 島川 佐藤 櫻井 佐川 小山

真理 紗也 かの 恭太 祥汰 あすか 拓実 晟功 大也 諒也 美玲 七海 友貴 竜弥 聖未 夏海 あり 博正 裕也

海部地区

近藤 小林 高知 角田 上田 石部 吉田 吉田 山内 山内 柳口 森口 森岡 丸岡 松本 松岡 前川 前川 前川 福山 平岡 久京

貴弘 正悠 光樹 裕真 進一 明佳 祐大 将輝 なつみ 一希 優芽 範行 信翔 真駿 京奈 加

穴喰地区

岡谷 大森 梅田 上田 石本 石本 家本 中山 青麻 吉將 青大 吉田 溝内 溝内 増本 前川 平道 平道 平東 坂一 乃脇 西宮 西宮 西宮 田村 高島 左海

え奈 文隆 吉麻 将春 恒聖 嵩和 隆孔 章稔 修公 庸佑 り々 可仁 弘誠 有大 菜河 弥等 希起 忍哉 郎真 司稔 平斗

米田 吉川 幸岡 森本 松本 松川 藤本 橋本 沼島 中村 中島 樽井 谷岡 高島 島崎 島崎 重清 佐野 公文 久保 喜多 川崎 金山

真竜 総一 凌介 璃菜 真忍 飛子 孝哉 英里 志広 未起 柚希 智哉 あずさ 直人 羽衣 那阿 なの は 駿介 鈴奈 明日香

「人権力」ですみよい町に！ 分館巡回人権学習会をふりかえって

社会教育指導員 佐藤和久

今年も分館巡回人権学習会が、10月中旬から11月中旬にかけて行われました。参加していただいたのは、役員も含めると461人でした。地区によってそれぞれ参加人数の差はありましたが、県内各地区の地域懇談会が下火になっていく現状を考えると、本町のように地域の人が寄り合っ

年間の人権研修参加回数

参加回数	人数
1回	182人
2回	51人
3回	27人
4回以上	54人

たり、語り合ったりする機会があるのは非常に意味のあることだと考えています。

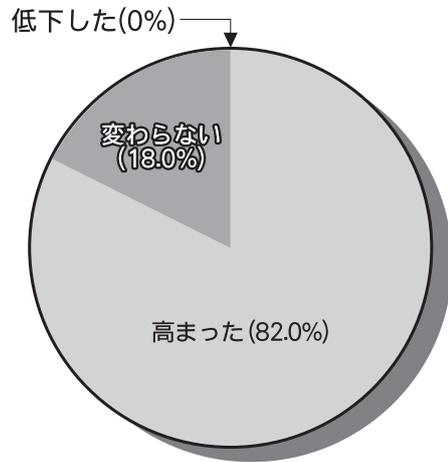
さて、今年のテーマは「障がいのある人もない人も、住みよい海陽町をめざして」でした。

障がい者問題を考えることは、人間のあるべき生き方を探ることであり、社会の様々なシステムの問題を洗い出すことでもあると思います。研修内容とアンケートからわかったことを簡単にまとめてみます。

参加者アンケートより

学習会のアンケートに答えていただいたのは334人です。50代60代70代の参加者が多く全体の73%がこの世代の方でした。「人権に関する研修を1年間に何回受けましたか」という質問の答えは上表のとおりです。多くの

人権意識の変化



方が、巡回学習会を人権に関する主たる研修機会にしていたらいいと思います。

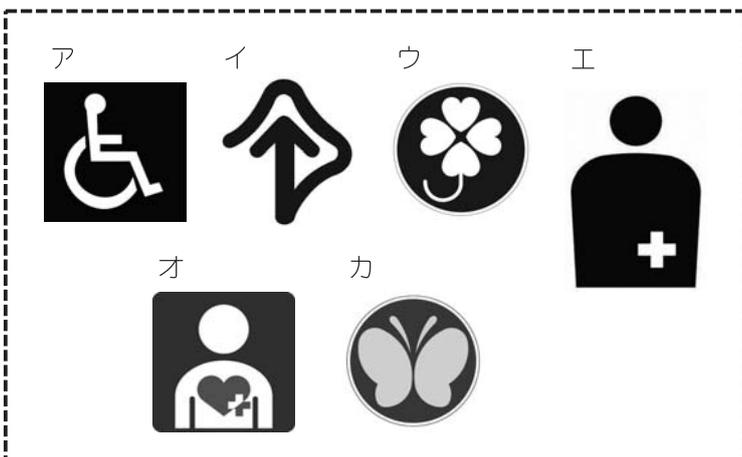
次に、「今回の研修で人権意識は高まりましたか」という問いに対して、およそ8割の方が「高まった」と回答していただきました。参加者相互の意見交換の時間が充分とれなかったという反省点もありますが、研修の中に今まで知らなかった情報が多く含まれていたという点でこのような評価になったのではないかと考えます。

研修内容について

研修の中心的課題として4つのことを取り上げました。

①障がい者マークについて

障がい者を表すマークはたくさんありますが、意外とその意味は知られていないようです。障がいのある方を理解する上で大切なことなので紹介します。学習会では6つ取り上げました。いくつか知っているでしょうか？



アは「障がい者」のための国際シンボルマーク」です。障がいのある方が利用できる建物、施設であることを表しています。車いすの方だけに限定されたものではありません。

イは「耳マーク」で聞こえが不自由な方を表しています。公共施設などでは筆談サービスも行っています。

ウは「身体障がい者標識」です。肢体不自由の方が運転する車に表示しているマークです。

エは「オストメイトマーク」です。人工肛門、人工膀胱を造設している人のための設備があることを表しています。

オは「ハートプラスマーク」。身体内部に障がいがある人を表しています。

カは「聴覚障がい者マーク」。耳が聞こえにくい方が運転している車に表示しています。

②「障がい」について

「障がい」をどうとらえるかについては、国により障がいの定義がかなり異なります。特に北欧においては「人間は生まれながらにして障がい者である」

という考え方をもとに社会のシステムが成り立っているようです。そのため、社会保障も充実しているのです。障がい者数も日本に比べてかなり多くなっています。「障がい」は本人の体の問題ではなく、社会の環境（設備や人の関わり）の問題であるという考え方が日本にももつと広がってほしいものです。

③障がい者差別解消法とは

2016年4月に障がい者差別解消法が施行されました。この法律では障がいを理由とする差別の解消を推進することによって、全ての国民が障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現をめざしています。

④自閉症について

自閉症のある東田直樹さんの生活をテーマにしたDVDを視聴していただきました。「自閉症」という障がいを通して、障がいのある方がどのようなことを思い、どのようなことを望んでいるのか、また、周りの人は障がいのある方にどう関わればよい

のかを理解する一つの糸口になればと考えました。

以上のような研修内容に対して寄せられた意見を見ると、肯定的な意見が多かった反面、「もっとこうしたらいいのではないか」という意見も頂きました。「参加者の固定化」「地域による参加者の偏り」「研修内容の検討」など考えなければならぬ問題は少なくないように思います。今後、多くの方からの多様な意見を頂きながらより良い人権学習会づくりにつなげていければと思います。

最後に、DVDを見ていただいた方の感想と、東田直樹さんの著書にあるメッセージを載せさせていただきます。

—アンケート—(感想)

- ◆自閉症という見えにくい障がいを知ることができて良かったです。
- ◆人の見方を改めて考え直さないといけないと思いました。
- ◆障がいを持たれている方々との接し方がこの研修によって自分自身変わっていくように思いました。ありがとうございました。
- ◆今回の自閉症の人からのメッセージは多くの人々の考え方を考えるきっかけとなると思います。
- ◆考えさせられる深いDVDでした。自閉症に限らず、様々な症状の障がいについてもっと解明され、情報が社会に広まってもっともっと理解が深まればよいなと感じました。

「人類は多くの命を殺し、地球を自分勝手に破壊してきました。人類自身がそのことに危機を感じ、自閉症の人たちをつくり出したのではないのでしょうか。僕たちは、人が持っている外見上のは全て持っているにもかかわらず、みんなとは何もかも違います。まるで、太古の昔からタイムスリップしてきたような人間なのです。僕たちが存在するおかげで、世の中の人たちが、この地球にとっての大切な何かを思い出してくれたら、僕たちは何となく嬉しいのです。」

東田直樹著『自閉症の僕が跳びはねる理由』より

10月30日(日)～11月13日(日)までの期間、第11回海陽町文化祭が海陽町内3会場(阿波海南文化村、海部公民館、宍喰町民センター)でそれぞれ開催されました。

作品展示については、各会場とも子どもから高齢の方までたくさんの方が作品を出展されました。

期間中、町内外から大勢の方が訪れて作品を鑑賞し、芸術の秋を楽しんでいました。

第11回海陽町文化祭2016

作品展示

—海南会場—



パッチワーク



写真



藍染め



海南小作品



お茶席



水墨画



書道



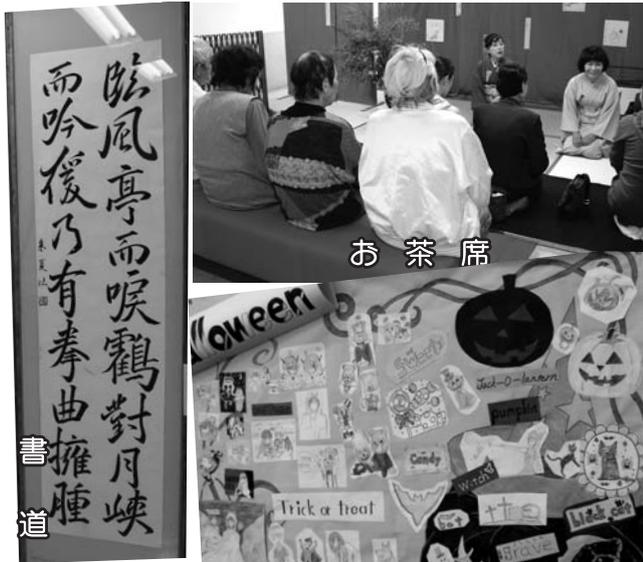
絵画



短歌



貝殻アート



海部会場



栄喰会場



芸能大会

—海南会場—



「学生の部」



海部高校演劇部 朗読劇



海部高校郷土芸能部



海部高校ボランティア部 手話コーラス



海陽中学校ブラスバンド部



穴喰中学校音楽部



突喰会場



ポタニカルキャンドル作り！

◆ポタニカルとは植物のことで、キャンドルに花、果物などさまざまな植物を閉じ込めたものが、ポタニカルキャンドルです。紙コップにドライフルーツやポップリなどを詰め込み、蝋を流しこみます。固まるのを待っている間に、色を付けたワックスシートでバラの花を組み立てローズキャンドルも作りました。



どれにしようか悩むな～



クリスマスケーキ作り！

◆毎年大人気のクリスマスケーキ作り！今年も午前、午後の部とも定員一杯となりました。



子どもたちも一生懸命！



冬休み親子体験講座



一気に正月気分です。



完成！！

◆今年も豪華な正月飾りが出来上がりました。

門松を作ろう！

海陽町分館交流スポーツ大会 ～グラウンドゴルフ～

12月2日(金)、大里松原グラウンドゴルフ場を会場に、海陽町公民館主催の第10回海陽町分館交流グラウンドゴルフ大会が開催され、72名が参加しました。

大会は、個人戦で行われ、総打数を競い合いました。ホールインワン賞は18名の方々が受賞されました。



表彰を受ける奥村さん



プレーを楽しむ皆さん

大会結果

【優勝】奥村 鞆子さん 【準優勝】佐藤 幸子さん 【第3位】川村 史郎さん
(スコア28) (スコア37) (スコア37)

(※同じ打数の場合2打が多かったため)

この地球上に
生きとし生けるものは、
皆、立派な主人公です。

宮沢賢治生誕120周年記念作品

舞楽詩 風の又三郎

宝くじ文化公演

原作 宮沢賢治

宝くじ文化公演

脚本/高橋亜子 演出/渡辺哲 演出/飯村・序章校正/長瀬重司 作曲/飯島保 編曲/諸井雅之 撮影/コントラスト

【入場券販売所】

海南文化館／穴喰町民センター／海陽愛あいクラブ／リーブル若山(ピアカイフ)
リパティ(牟岐)／海の総合文化センター(牟岐)
日和佐公民館(美波)／阿南市文化会館「夢ホール」

【主催】海陽町／海陽町教育委員会／(一財)自治総合センター

【問い合わせ先】阿波海南文化村海南文化館 Tel. 0884-73-3100

平成29年

2月25日(土)

開場時間：

13時30分

(開演時間：14時00分)

阿波海南文化村 海南文化館

〒775-0202

海部郡海陽町四方原字杉谷73

一般

全席自由 2,000円(当日2,500円)

高校生以下

全席自由 1,000円(当日1,200円)

・この公演の入場料は、宝くじの助成により特別料金になっています。
・車イスでの入場も可能となっています。



宝くじの収益金は、学校、図書館等の教育施設の整備をはじめ、公園、社会福祉施設等の建設改修など、皆様の日常生活に役立つように使われています。

このイベントは、宝くじ社会貢献広報事業の一環として実施しています。
一般財団法人 自治総合センター



1,000万人のガンバリサポート

スポーツ安全保険[®]


4名以上の団体・グループで
 ご加入ください。

-  傷害保険
-  賠償責任保険
-  突然死葬祭費用保険

対象となる事故	団体での活動中の事故／往復中の事故
保険期間	平成29年4月1日午前0時から平成30年3月31日午後12時まで(申込受付は平成29年3月から)
掛金	掛金(1人年額800円～1,850円)は、活動内容・年齢によってご選択いただく加入区分ごとに異なります。ただし、危険度の高いスポーツを補償するD区分は11,000円
補償内容	補償内容は、加入区分によって異なります。詳しくは、ホームページなどをご覧ください。

公益財団法人 スポーツ安全協会 徳島県支部 〒770-0942 徳島市昭和町三丁目35番地1
(公財)徳島県体育協会内
TEL 088-655-3660 電話受付時間 午前8時30分～午後5時15分(土、日、祝日を除く。)



保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。
 ※インターネットからも加入受付をおこなっております。

スポーツ安全協会

(引受幹事保険会社)
 東京海上日動火災保険株式会社
 担当課：公務第2部 文教公務室
 TEL 03-3515-4346(平日9:00～17:00)

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険)、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約等付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)付帯普通傷害保険賠償責任担保条項))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

(共同引受保険会社(平成29年4月))
 あいおいニッセイ同和 共栄火災
 損保ジャパン日本興亜 大同火災 東京海上日動
 日新火災 富士火災 三井住友海上

中国・四国ブロック民俗芸能大会



去る11月20日(日)に高知県立県民文化ホール・オレンジホール(高知市本町4丁目)で、第58回中国・四国ブロック民俗芸能大会が開催され、海陽町無形民俗文化財である穴喰の団七踊り(平成10年指定)メンバー15名が出演しました。各出演団体に感謝状が贈られました。

団七踊りは、奥州白石(宮城県)を舞台とした江戸歌舞伎の傑作「碁太平記白石噺」を題材とした踊りです。百姓与太郎が娘の宮城野・信夫と田の草取りをしていたところ、通りかかった代官の志賀団七の袴に泥をかけてしまい、無礼討ちにされてしまいます。この出来事を聞いた母親も悲しみのあまり後を追うように亡くなり、残された姉妹は両親の無念を晴らそうと意を決し、武芸者として知られた由井正雪の弟子となり、長い年月にわたる苦しい修行の末、見事に父の敵である志賀団七を討ち果たす物語です。

団七踊りは石川県、宮城県、和歌山県、愛知県など、全国各地で踊られています。穴喰でいつから、どのような経緯で踊られるようになったのかは定かではありませんが、江戸時代から盆踊りとして盛んに踊られていたようです。

団七踊りの踊り方は、その地方によって踊り方が違い、それぞれに特色がありますが、穴喰団七踊りの場合には、団七を中心に右側に妹(鎖鎌)、左側に姉(薙刀)の3人1組で、太鼓・鉦の拍子で音頭に合わせて勇壮に踊ります。

穴喰団七踊りはかつては慰霊踊りとして、お盆の頃には地元のお寺で踊られ、角坂地区盆踊り大会では、手踊り、うちわ踊りと一緒に踊られていました。現在は、各種イベントの中で踊られています。



■お問い合わせ(穴喰団七踊り保存会会長 朝賀増美 76-2166) 団七役、募集中!



ウィンタースポーツの代表であるスキーの実習をすることで、より雪に親しみ、同時に、異年齢の集団生活により社会性の向上を目指すことを目的として今年も活動を計画しました。12月22日から25日まで1夜行2泊4日で、岐阜県飛騨高山スキー場で海陽町・牟岐町の小学生・中学生、計17名が参加して雪国体験教室が開催されました。生徒らはほとんどがスキー初体験。慣れないスキーに四苦八苦しながらも、雪の積もったグレンデに感動した様子で、インストラクターの指導を受けながら体験をしました。

参加者の声

海南小学校5年 森下 明子

わたしははじめてスキーをしました。はじめは、けっこうむずかしそうだったけど、やってみて、けっこうバランスがわるいけどぶつうにすべれてよかったです。あんまりこけてないのでよかったけど、止まるときに止まれないことがあったのできをつけたいと思いました。あと、スピードがコントロールできなかったのもきをつけたいです。すべてみて、けっこう楽しかったです。スキーのブーツとかもはじめてきてすごい変なかんじだったけどあたたかかったです。

リフトにものってみて、とっても楽しかったし、けっこう高かったです。きゅうなさかもあったので、むずかしかったです。でも、なれたら、かんたんでした。スキーのブーツとかはとても重かったです。いたもとても重かったです。でも本当にとっても楽しかったです。またいけたらいきたいと思いました。



穴喰俳句

十二月例会より

畑仕事今日はここまで十二月
 自分流譲らぬ夫や冬隣
 波音に混じる木枯し夜の静寂
 野良猫を抱く冬の日溜りを抱く
 かぞえ歌うたって待つのお正月
 秋天や煙の匂い幾筋も
 手袋をとって繋ごうと言えない
 冬晴や銀翼一機すべりゆく
 石段の十六段め赤とんぼ
 十二月予定の多さに身構える
 天高し奈良の大仏笑ってる
 バス席の片手袋も一人旅
 柿と烏賊伊根の舟屋に吊るされて
 介護士と歩く年寄冬雲雀
 からからと吹かれ大きな柿落葉
 寒さうな顔の来てをり墓石店

阿津 敏美
 元木 栄子
 朝賀ます美
 外山 千佳
 山本 球子
 樽井みつ子
 新井 駿也
 長岡 達江
 間戸谷 恵子
 鍛冶田 晟
 梅田千恵子
 新井久実
 川野 佳代
 元木 朱子
 寺崎 照代
 木下 野生

海南俳句

日溜りの猫と目が合い冬温し
 行く秋のこもごもの古いクラス会
 力んでも行く秋感ず傘寿かな
 紅葉山背にして映ゆる大鳥居
 登校に少し間のあり初氷
 みちのくの紅葉浮かべる露天風呂
 明日への種を残して秋終う
 行く秋や雀少なくなりしこと
 投げ銭の僧の読経や月冴えて
 山茶花の落花の頃や妻の逝く
 行く秋のひと日の終わる早さかな
 冬紅葉鳥彫る刃先拙くて
 枯芝と共に老い行くわが母校
 行く秋や好みの帯を選びかね
 綿虫や夕暮れ時の立ち話

北川 花
 谷 律子
 森口 豊子
 廣瀬 克子
 武知 陸子
 山本 達平
 吉田 保則
 鍛冶崎 郁夫
 田中 たち子
 岳山 祐弘
 谷口 洋根子
 叶岡 陽二
 平道 はつ子
 新居 利之
 橋本 幸子

12月発行 第64号 海南俳句会分に誤りがありましたので、
 訂正してお詫び申し上げます。

〈訂正〉

秋深みぼつりぼつりの話し声 山本 達平
 玉入れの玉の不揃ひ運動会 谷口洋根子
 行く末を思い惑わす秋の風 新居 利之
 鳥渡る旋回飛行川に添ひ 田中たち子
 月天心明日もかくあれ客を待ち 谷 律子

海部ひまわり俳句

おおぜいが居るのに孤独冬の月 津田 一

底冷えの厨に入りて葉飲み 西本 公明

漱石忌則天去私には近づけず 榊原 礼子

柚子湯する「母さんの歌」くちびるに 南 歌子

年せまる五百歩あるきとびあがる 松田 嘉子

帰り道蝸啼けり今日もまた 元木 美枝子

オバマさんハグをするなり原爆忌 佐藤 美代子

冬凧や大海原に漁船とぶ 穴戸 道子

小春日や宇宙に包まる一日なり 岡 育代

白梅のチラホラ咲くや夢ごこち 川野 照美

落葉掃く背にあいさつの通学路 福田 敦子

天頂へそぞろ集むる春の星 佐藤 蔦子

年賀状僕に来るのはチラシだけ 穴戸 保夫

Pink petals. 関山 無門

I me mine are naught but dreams. 関山 無門

Cast the net again

〈意訳〉
散る桜 ころろに夢あり 意欲あり

海部短歌会

ひっそりと晩翠の歌碑守り居る別子山村菊を咲かせて 風呂谷 幸子

老いてゆく我が身の果てもと胸せまりホームに向う姫愛しむ 溝内 和恵

山里に点点と袖と柿温もり留めて冬に入りゆく 小笹 仁子

四島も二島も還らず島民は古里徳び高齢に泣く 池田 孝司

いつまでも闇にはあらずトンネルの出口は緑したたる半円 北村 千代子

義妹いもうとと電話長々子への愚痴わが身の老いは一先ず置きて 西田 美代

来年はいつばい友をつれて眩きながらコスモスを抜く 栢岡 節子

網代川柳十二月句会より

目に見えぬ心言葉に姿見せ 福岡 純山

へそくりにはぼつぼつ付ける遺言状 風呂谷 いずみ

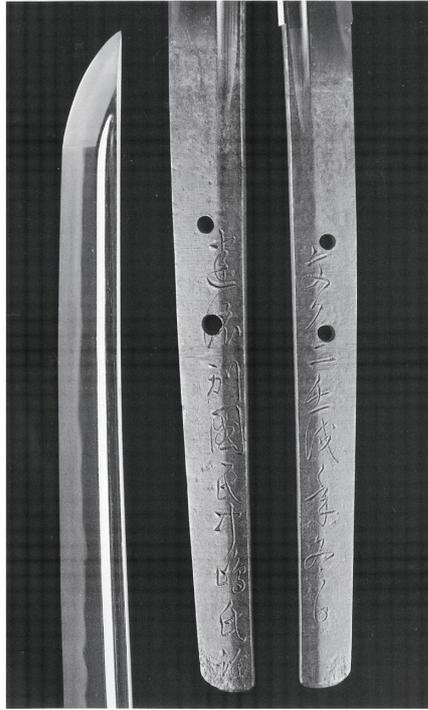
朝がえり俺の居場所が見つからぬ 太田 一洋

耐えること諦めること夫婦道 井上 可楽

老人会まだ抵抗があると逃げ 黒岩 一平

生き下手で大根役者で終わりそう 石垣 小道

トピック

たけ より わけ くに たみ なか じま うじ のり
建依別国民中島氏詮

海部は土佐と隣り合い、常に関わりを持っている。それは刀にもいえる。土佐に移住した海部刀工の末流である中島氏詮（なかじまうじのり）は、尊皇攘夷を掲げた土佐勤王党の志士の刀を作り、運動を支えるなど波瀾万丈に生きた。刀には刀工名と共に土佐の古名「建依別（たけよりわけ）」と刻む。中島氏詮の作風は土佐の幕末刀を反映しており、この頃の刀は総じて反りが浅く、2尺6寸余り（約80cm）もある長寸の豪刀が多い。まるで江戸幕末期の不安定な時代を表しているかのようである。

熱い思いを持った土佐勤王党の二十三士や、彼らと阿波の人々との関わりを、海陽町立博物館企画展で取り上げている。（2 / 12日まで）